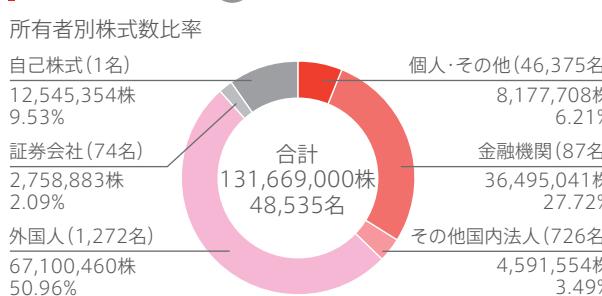


株式の状況



大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	76,561	6.43
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	75,263	6.32
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口)	56,781	4.77
株京都銀行	48,802	4.10
野村信託銀行㈱(退職給付信託三菱UFJ銀行口)	42,109	3.53
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505010	26,141	2.19
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口5)	24,978	2.10
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	22,545	1.89
ジェーピー モルガン チェース バンク 385151	20,632	1.73
日本トラスティ・サービス信託銀行㈱(信託口7)	18,464	1.55

(注)1.当社は自己株式125,453百株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2.持株比率は当社の自己株式を控除して計算しております。

取締役および執行役員



(2020年6月26日現在)

地 位	氏 名
代表取締役社長	古川 俊太郎
代表取締役 フェロー	古宮 茂也
取締役 専務執行役員	高橋 伸也
取締役 上席執行役員	塩田 興聰
取締役 上席執行役員	柴田 啓雄
取締役(常勤監査等委員)	梅山 麻聰
社外取締役(監査等委員)	山口 啓一
社外取締役(監査等委員)	寄川 晃志
社外取締役(監査等委員)	新山 元介
上席執行役員	大進 仁
上席執行役員	進士 正晃
上席執行役員	和士 駿志
執行役員	泉塚 一晃
執行役員	坂上 志元
執行役員	別山 駿志
執行役員	岸 勝太郎
執行役員	Doug Bowser
執行役員	Stephan Bole

会社の概要



(2020年3月31日現在)

商号	任天堂株式会社 (英語名 Nintendo Co., Ltd.)
本社	京都市南区上鳥羽鉾立町11番地1
	TEL 075-662-9600(代表)
設立	1947年11月20日
資本金	10,065,400,000円
主な子会社	任天堂販売株式会社 Nintendo of America Inc.(アメリカ) Nintendo of Europe GmbH (ドイツ)
従業員数	6,200名(連結)

株主メモ



■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

お取引の証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行
株式会社にお申し出ください。

■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出
ください。

株主名簿管理人

三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

同事務取扱場所

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
大阪市中央区北浜四丁目5番33号

株主名簿管理人・特別口座管理機関への お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区と泉二丁目8番4号

Tel 0120-782-031(フリーダイヤル)

※ 受付時間 平日9:00~17:00

Nintendo®

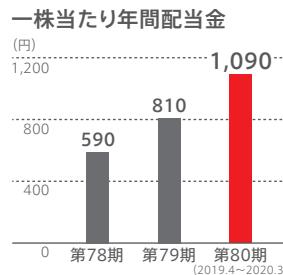
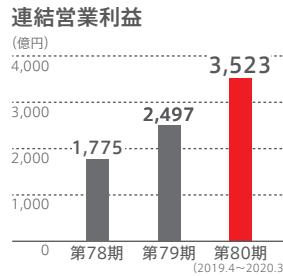


第80期 報告書

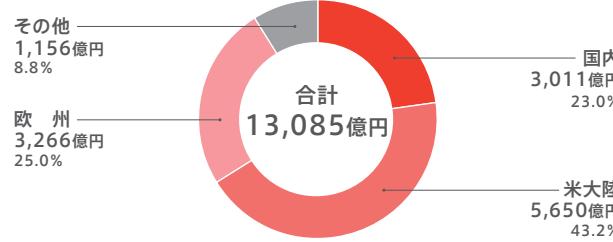
2019年4月1日から2020年3月31日まで

任天堂株式会社

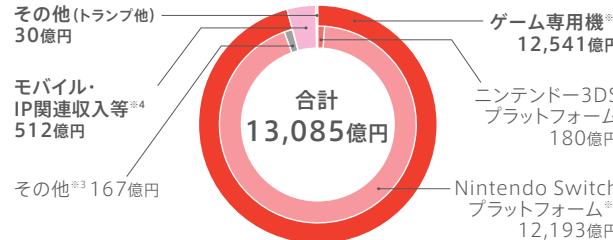
財務ハイライト



地域別連結売上高 (2019.4.1~2020.3.31)



連結販売実績 (2019.4.1~2020.3.31)



(参考) ゲーム専用機に含まれるデジタル売上高^{※5} 当連結会計年度 2,041億円

※1 各プラットフォームの内訳は、ハードウェア・ソフトウェア(パッケージ併売ダウンロードソフト、ダウンロード専用ソフト、追加コンテンツ等含む)・アクセサリ等を含みます。

※2 Nintendo Switch Onlineを含みます。

※3 ニンテンドー3DS、Nintendo Switch以外のゲームプラットフォームやamiibo、バーチャルコンソール等になります。

※4 スマートデバイス向け課金收入、ロイヤリティ収入等になります。

※5 パッケージ併売ダウンロードソフト、ダウンロード専用ソフト、追加コンテンツ、Nintendo Switch Online等の売上高になります。

財務情報



連結貸借対照表 (要旨)

[単位 : 百万円]

科目	当期末 (2020.3.31現在)	前期末 (2019.3.31現在)
資産の部		
流動資産	1,501,583	1,344,972
固定資産	432,504	345,331
有形固定資産	82,866	81,550
無形固定資産	15,017	14,090
投資その他の資産	334,619	249,690
資産合計	1,934,087	1,690,304
負債の部		
流動負債	355,683	245,009
固定負債	37,503	30,496
負債合計	393,186	275,505
純資産の部		
株主資本	1,575,428	1,422,260
資本金	10,065	10,065
資本剰余金	15,041	12,069
利益剰余金	1,707,119	1,556,881
自己株式	△ 156,798	△ 156,755
その他の包括利益累計額	△ 34,741	△ 12,548
その他有価証券評価差額金	10,637	17,665
為替換算調整勘定	△ 45,378	△ 30,214
非支配株主持分	213	5,086
純資産合計	1,540,900	1,414,798
負債純資産合計	1,934,087	1,690,304

連結損益計算書 (要旨)

[単位 : 百万円]

科目	当期 (2019.4. 1から 2020.3.31まで)	前期 (2018.4. 1から 2019.3.31まで)
売上高		
売上原価	666,817	699,370
売上総利益	641,701	501,189
販売費及び一般管理費	289,331	251,488
営業利益	352,370	249,701
営業外収益	25,582	28,315
営業外費用	17,490	662
経常利益	360,461	277,355
特別利益	1,041	1
特別損失	229	5,584
税金等調整前当期純利益	361,273	271,772
法人税等	102,589	77,204
非支配株主に帰属する当期純利益	41	558
親会社株主に帰属する当期純利益	258,641	194,009
連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)		
[単位 : 百万円]		
区分	当期 (2019.4. 1から 2020.3.31まで)	前期 (2018.4. 1から 2019.3.31まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	347,753	170,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 188,433	45,353
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 111,031	△ 109,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 12,264	△ 5,948
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	36,024	100,897
現金及び現金同等物の期首残高	585,378	484,480
現金及び現金同等物の期末残高	621,402	585,378

株主の皆様へ

代表取締役社長 古川 俊太郎

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。
当社グループの第80期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の業績につきまして、その概要をご報告申しあげます。

事業の経過およびその成果

当期の状況は、Nintendo Switchでは、小さく、軽く、持ち運びやすくなった携帯専用の「Nintendo Switch Lite」を発売したことに加えて、「Nintendo Switch」も勢いを落とすことなく好調に推移したことにより、Nintendo Switch ファミリー本体の販売台数は大きく増加しました。ソフトウェアでは、『ポケットモンスター ソード・シールド』が1,737万本の販売を記録する大ヒットとなつたほか、3月に発売した『あつまれ どうぶつの森』がNintendo Switch向けソフトウェアでは過去最大の滑り出しを見せ、1,177万本の販売と

なりました。このほか、『ルイージマンション 3』や『スマートリオメーカー 2』など当期に発売したソフトウェアに加え、前期までに発売済みの人気タイトルやソフトメーカー様のタイトルも好調に販売本数を伸ばし、当期のミリオンセラータイトル数はソフトメーカー様のタイトルを含めて27タイトルとなりました。また、Nintendo Switchについては、テンセント社様を通じて、中国においても販売を開始いたしました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月から3月にかけて、「Nintendo Switch」本体およびJoy-Conなどの周辺機器や、『リングフィット アドベンチャー』の生産および出荷の遅延が一部地域で生じたものの、当期業績への影響は限定的となりました。

これらの結果、ハードウェア、ソフトウェアとともに販売が好調だった前年を上回り、当期のハードウェアの販売台数は2,103万台(前期比24.0%増)、ソフトウェアの販売本数は

1億6,872万本(前期比42.3%増)となりました。Nintendo 3DSでは、ハードウェアの販売台数は69万台(前期比73.0%減)、ソフトウェアの販売本数は499万本(前期比62.3%減)となりました。

ゲーム専用機におけるデジタルビジネスでは、Nintendo Switchのパッケージ併売ダウンロードソフトによる売上が好調だったことに加えて、ダウンロード専用ソフトや追加コンテンツによる売上が順調に伸び、Nintendo Switch Onlineによる売上も年間を通じて計上されたことにより、デジタル売上高は2,041億円(前期比71.8%増)となりました。

モバイルビジネスでは、当期に配信を開始した『Mario Kart Tour』等はもちろん、これまでに配信済みのアプリも多くのお客様に継続して楽しんでいただいており、モバイル・IP関連収入等の売上高は512億円(前期比11.5%増)となりました。

これらの状況により、売上高は1兆3,085億円(前期比9.0%増、うち、海外売上高1兆73億円、海外売上高比率77.0%)、営業利益は3,523億円(前期比41.1%増)、経常利益は3,604億円(前期比30.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,586億円(前期比33.3%増)となりました。

今後の見通し

当社グループは、「任天堂IPに触れる人口の拡大」を基本戦略とし、遊べば圧倒的に面白く、かつ一目で面白さが伝わる独創的な商品やサービスの企画開発に取り組みます。また、任天堂IPの積極的な活用を進め、当社が取り組む娛樂の領域や規模の拡大を目指すとともに、Nintendoアカウントを活用したビジネスを推進し、お客様との長期的なつながりの構築を目指します。

新型コロナウイルス感染症による世界的な生産活動や消費活動の落ち込みが懸念される状況にありますが、Nintendo Switchについては、引き続き、「Nintendo Switch」と「Nintendo Switch Lite」の2つのハードの魅力をお伝えし、普及拡大に努めます。5月に『Xenoblade Definitive Edition(ゼノブレイド ディフィニティブ・エディション)』を発売し、6月に『世界のアソビ大全51』を発売したほか、7月には『ペーパーマリオ オリガミキング』を発売します。さらに、シリーズ初となる追加コンテンツ『ポケットモンスター ソード・シールド エキスパンションパス』の「鎧の孤島」を6月に配信し、「冠の雪原」を今秋に配信します。また、ソフトメーカー様からもバラエティに富んだ魅力あるタイトルの発売が予定されており、発売済みの人気タイトルに加えて、魅力ある新規タイトルを継続的に投入することで、プラットフォームの活性化に努めます。

モバイルビジネスでは、先述の通り当期に配信を開始した『Mario Kart Tour』をはじめとして、これまでに配信したアプリについても、より多くのお客様に継続して楽しんでいただけるよう運営に注力していきます。

今後も時代に合わせて柔軟に自らを変化させ、「娛樂は他と違うからこそ価値がある」という「独創」の精神を大切にし、お客様に良い意味で驚いていただける商品やサービスを提供していきます。

これらの取り組みのもと、引き続き社業の発展に邁進する所存でございますので、株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。